

市政に対する

一

般

質

問

市長の政治姿勢

市長二期目の市政運営は

古橋議員 市長としての二期目を終わろうとしている今、自身で進めてきた市政運営をどのように評価されているか。特に、公約として掲げたものの進捗状況等も含めて伺いたい。

市長 議員各位を初め市民の皆様への力強いご支援と協力をいただき、「市民の皆様との対話と信頼」を基本として、本市の将来像である「だれもが、ほっと」できるまち」、そして「日本一安心なまち」の実現に全力で傾注してきた。

第十次市勢発展長期計画の中には、公約に掲げた項目も重点的に盛り込んでおり、基本となる七つの政策は、①暮らしやすさが実感できるまちづくり、②学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり、③思いやりと安心に満ちたみんな元気なまちづくり、④自然と潤いがある安全快適なまちづく

約については、おおむね順調に進捗しており、本市が目指す将来像が実現できるものと考えている。

平成二十五年度の

予算編成と主要施策は

り、⑤地域と産業が調和する活力あるまちづくり、⑥市民の知恵と夢で拓くみんなのまちづくり、⑦効率的で市民にわかりやすいまちづくりである。公約として掲げた諸事業については、実行に移すことができたものと考えている。その他としては井頭・西郷線の

道路拡幅整備、環境関連では広域ごみ処理施設の建設、学校施設関連では耐震補強工事、スポーツ施設関連では総合運動公園の陸上競技場の整備が近い将来完了することも含め、九十一項目に掲げた公

古橋議員

平成二十五年度予算

は、井田市長の一期目最後の予算編成となるが、先行き不透明な経済状況が続く中では、市税の伸びは見込めず、限られた財源での予算編成にならざるを得ないものと予測する。現時点での歳入の見通しはどうか。また、主要施策についても伺いたい。

市長 財源の確保は大変厳しい状況にあり、歳出予算の要求状況は、歳入見込額を大きく上回っている。市税等の収納率向上などの歳入の確保に努めるとともに、歳出面においても、引き続き徹底した削減と行財政運営の効率化に努めていく。

平成二十五年度の主要施策については、予算編成中であるため、予算規模と同様に詳細を申し上げる段階にはないが、行政評価システムによる評価結果等を踏まえ、

本年十月に平成二十五年度真岡市行政経営方針を決定した。この経営方針において、日本一安心なまちを実現するため、四つの安心なまちづくりの基本戦略と位置づけ、各政策及び施策の中で重点的に取り組むことと定めている。

特に、成果の向上を目指して平成二十五年度の重点施策に決定したものは、公共交通ネットワーク整備、小中学校教育の充実、子育て支援の充実、高齢者の自立と社会参加の支援、健康づくりと適切な医療の確保、廃棄物の抑制と適切な処理、防犯対策の推進、商業の振興の八項目であり、これらを積極的に推進したいと考えている。

選挙公報の

インターネット配信を

佐藤議員

選挙公報のインターネット配信については、昨年三月の東日本大震災を契機に総務省がOKを出しているため、真岡市でもOKなのではないかと思う。

市長選挙や市議会議員選挙においては、その選挙公報をPDFファイルにして市のホームページに掲

載すればいいのではないか。若者の低投票率の対策にもなる。若者のほとんどが携帯電話やスマートフォンを持っている。ネットをするときに選挙にも関心を持ってもらい、候補者がどのような考え方をしているのかということも、パソコンだけでなく携帯電話でも見ることができるようになるわけである。そのような時代に突入しており、真岡市としてもやるべきと思うが、市の考え方を伺いたい。

選挙管理委員会書記長

ホームページへの選挙公報の掲載は、選挙の公正を害する恐れがあるとして、掲載すべきではないとされてきたところである。しかし、今年三月二十九日付の総務省通知により、有権者に対する啓発、周知活動の一環として、選挙公報をそのままの形で選挙管理委員会のホームページに掲載することは、可能であるとの見解が示されたところである。したがって、本市においては、来春に予定されている市長選挙並びに市議会議員補欠選挙において、ホームページへの選挙公報の掲載を検討したいと考えている。

建設中の芳賀地区広域ごみ処理施設



建設中の芳賀地区広域ごみ処理施設